

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 13	中期総合計画主要施策番号		3 - 01	担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課	
事業名		エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業					内線	2640	
							E-mail	kenko@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	エイズ・性感染症に関する正しい知識と早期検査の大切さを普及啓発し、エイズ・性感染症の発生予防及びまん延防止を図るとともに、HIV感染者・エイズ患者に対する医療提供体制の確保を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・長野県は、全国的にもHIV感染者、エイズ患者の発生が多い状況にある。 ・若年層から中高年層まで幅広い年代でHIV感染者、エイズ患者の発生が継続している。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・エイズ・性感染症に関する正しい知識の啓発が不足している。 ・エイズ患者は、HIV感染を知らないまま、発症後に発見されるケースが多い。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・エイズ・性感染症の発生予防とまん延防止のため、正しい知識や早期検査の重要性を広く啓発していく必要がある。 ・感染者を早期に発見し、適切な医療が受けられるようにするため、医療機関の診療機能に応じた医療提供体制を整備する必要がある。							
		事業内容 ・エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を実施 ・保健所における匿名・無料による相談受付、迅速検査の実施 ・HIV診療体制の実態調査及び医療従事者研修会の実施 補助率[国]1/2、[県]1/2							
		実施期間	S62 ~		根拠法令等	感染症法、エイズ予防指針、性感染症に関する特定感染症予防指針			
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
・エイズ・性感染症に関する正しい知識と早期検査の重要性に関する普及啓発を図る。 ・一般の医療機関におけるHIV感染者・エイズ患者に対する医療提供体制の基盤づくりを図る。		・啓発資料を作成し、出前講座を年間70回程度実施する。 ・HIV・性感染症無料検査を実施する。 ・全医療機関を対象としてHIV診療体制実態調査を実施する。 ・HIV診療に関する医療従事者向け研修会を2回開催する。			・出前講座を67回開催し、6,616名が受講した。 ・HIV検査3,125件、性感染症検査4,243件を実施し、検査前後の相談時に感染予防の啓発を行った。 ・1,361医療機関を対象に調査を実施し、55.0%の回答率が得られ、エイズ患者の受診動向を把握することができた。 ・医療従事者感染症対策研修会を2回開催し、HIV診療に関する最新知見の普及を図った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	9,952	13,051	12,223	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	9,952	13,051		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	4,972	6,526	6,119	歳出節別	需用費:10,614	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	11.00	11.00	11.00	内訳等	委託料:1,282	
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	88,492	91,690	90,862	(単位: 千円)	役務費:1,155	
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	出前講座実施回数		回	90	67	70	・中学生・高校生用啓発パンフレットを作成し(各12,000部)、配布した。		
	HIV検査件数(暦年、長野市保健所を除く)		件	3078	3125	3100	・エイズ治療拠点病院において無料迅速検査(検査試薬は県負担)を実施し、887件の受検があった。		
	医療従事者研修会参加者数		人	217	221	300			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・国内のHIV感染者／エイズ患者は年々増加しており、早期発見のために検査へのニーズは高い。また、感染者・患者に対する医療提供の確保を図る必要がある。 ・検査陽性者へのケアは、専門知識を有する医師、保健師等が担う必要があり、人権に配慮したきめ細かな対応が必要とされる。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		感染予防と感染者の早期発見を図るため、幅広い普及啓発を実施し、時間外・休日検査等の継続により検査受診機会の拡大が必要である。							